



ぐるべー



小平市ホームページ

スマートフォン用

◆<http://www.city.kodaira.tokyo.jp>
トップページ「子ども・教育」-「教育委員会」-
「教育行政資料(教育目標、各種会議録・報告書など)」

編集・発行
小平市教育委員会教育総務課
〒187-8701
東京都小平市小川町2-1333
小平市役所5階
TEL 042(346)9568

令和
6年度

子どもたちに寄り添った 新たな施策を紹介します

4月 チャレンジクラス「上水さくら学級」がスタート!

チャレンジクラスに教員を配置し、生徒一人ひとりの状況に応じた柔軟な学びを実現します

令和6年度から、東京都教育委員会の不登校施策の一つである、校内別室指導学級(チャレンジクラス)を上水中学校に設置しています。

東京都における不登校の児童・生徒は約2万7千人にのぼり、10年連続で増加しています。小平市においても、早急な対策が求められる不登校対応について、東京都独自の取組となるチャレンジクラス「上水さくら学級」を新たに設置しました。

チャレンジクラスとは…

- 1 不登校生徒が安心して学校生活を送ることができるような、ゆとりある生活時程を実現し、実態に応じた支援を行います。
- 2 正規の教員が担任となり、支援を行います。また、校内の他の教員や養護教諭、スクールカウンセラー等も生徒の支援を行います。
- 3 生徒一人ひとりの学習状況に合わせた個別学習やグループ学習などを行うほか、生徒の興味や関心に合わせた様々な体験活動等を通じて生徒のチャレンジ意欲を育みます。

対象となる生徒

- 市立中学校に在籍し、次の(1)、(2)のいずれかの状況にある生徒
 - (1)年間30日以上欠席し、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくてもできない状況にある生徒
 - (2)欠席が30日未満であっても、断続的な不登校または不登校の傾向が見られる生徒
- ※入級の希望がある場合は、在籍校にご相談ください。



「上水さくら学級」の教室

5月

バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP) 「バーチャルスペースこだいら」がスタート!

仮想空間を利用した居場所や学びの場を提供します

小平市教育委員会は、東京都教育委員会の不登校施策の一つである仮想空間で、学びや、ふれあいが体験できるバーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)「バーチャルスペースこだいら」を始めました。

不登校児童・生徒を対象に、「外にあまり出られないけれど、バーチャルなら参加してみたい」、「安全な仮想空間で、学習したり、コミュニケーションをとったりしてみたい」という思いをもつ市立小・中学生を対象に、月曜日・火曜日の週2回、午後の2時間を使って、居場所や学びの場を提供します。



VLP画面の例



問合せ 指導課 ☎042(346)9565

自閉症・情緒障がい特別支援学級について

自閉症や情緒障がいのある児童に対する支援を行うため、令和6年4月、小平第四小学校に自閉症・情緒障がい特別支援学級「こげら学級」を開設し、学習を始めました。

また、小学校から中学校への切れ目のない支援の必要性の観点から令和7年4月、小平第二中学校に自閉症・情緒障がい特別支援学級を開設することを目指し、準備を進めています。

小学校及び中学校への入級に関しては、在籍校の担任の先生や特別支援教育コーディネーターなどに相談してください。

詳細は市ホームページをご覧ください。

【自閉症・情緒障がい特別支援学級とは?】

知的障がいがなく、自閉症や情緒障がいなどの特性により、日常的に通常の学級で活動することが難しい児童・生徒を対象とした学級です。

また、一人ひとりの児童・生徒の状況に応じて通常の学級の児童・生徒と交流及び共同学習を行います。

問合せ 指導課 ☎042(312)1214



小学校



中学校

「学校更新事業について」

市では、小平第十一小学校と小平第十三小学校の校舎等の建て替えを進めています。

令和6年3月に策定した小平第十一小学校等複合施設の整備に関する基本設計方針と小平第十三小学校等複合施設の整備に関する基本計画を基に、今後、基本設計・実施設計を行います。基本設計の段階でも皆様のご意見をいただきながら進めていきます。

なお、小学校の更新に合わせて、従来の地域センター機能や公民館機能を複合化した新たな地域コミュニティ施設として、(仮称)地区交流センターを整備する予定です。担当部署は、市民協働・男女参画推進課コミュニティ担当となりますので、ご不明点等ございましたら、お問い合わせください。

今後のスケジュール等については、市ホームページをご覧ください。

〈教育総務課〉



市ホームページ
学校更新事業